

1. 科目名 (単位数)	心理学を活かしたキャリアデザイン (2単位)	3. 科目番号	PSMP1101
2. 授業担当教員	長坂 正文		
4. 授業形態	講義、ディスカッション	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>心理学部の学生は、心理学の各分野の理解を深めると共に、社会福祉、精神保健福祉、教育などの心理学近接領域におけるヒューマンサービスの実情を学び、それぞれの現場で心理学の知見を応用していくための基礎的な力を身につけることが期待されている。その背景には、心理学を学ぶ学生が、多様なキャリアを展開させることが想定されている。</p> <p>本科目では、改めて心理学部に入学したことを踏まえて、心理学を学ぶことの意義を考えながら、心理学を活かした職業やキャリアの多様性を学び、社会人として踏み出すための自己理解と、将来働く場についての理解を促す。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教養としての心理学の汎用性について理解できるようになる。 2. 心理学を学んだ者には多様なキャリアがあることを知る。 3. 自分にとっての働く意味を考え、どのような資格取得を目指すかについて決められるようになる。 		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<ul style="list-style-type: none"> ・講義前には必ず該当部分に通し、疑問点を明確にしておく。 ・2回レポートを提出する。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 自分が将来就きたい仕事 (A4用紙 2枚、2,400字以上)。授業の中では「将来の夢」について取り上げるが、自分自身が実際に、現実的に将来どのような仕事をしたいのか、またその理由は何なのかということについて、深く考える機会としてほしい。 2. ミニ論文を書く (テーマは自由) (A4用紙 4枚、4,800字以上)。キャリアデザインを成就するためには、自分の考えを論理的な文章に表現することが大切となる。授業でも「書く能力」を演習的に取り上げるが、長い文章を書く機会としてほしい。 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】大久保幸夫著『キャリアデザイン入門 I 基礎力編 第2版』日本経済新聞出版社、2016。</p> <p>【教材】随時資料を用意し活用する。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>授業やレポートを通して以下の3点について、理解を深めたかどうかを評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学問として心理学を学習するだけでなく、日常生活や就職にどのように生かせるのか考えることができる。 2. 心理学を学んだ者には多様なキャリアがあることを知る。 3. 自分にとっての働く意味を考え、どのような資格取得を目指すかについて決められるようになる。 <p>○評定の方法</p> <p>学則で定められた単位取得の条件(3/4以上の出席)を満たしていることを前提として、授業態度と参加姿勢40%、試験及び課題レポート60%で判断する。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアデザインとは、キャリアの「職務経歴」と「仕事に対する自己イメージ」という二側面を形成するために内省と行動を繰り返すことである。本科目を履修することで、キャリアに対する意識を高め、ぜひ、将来に繋がる自身のキャリアデザインを成し遂げてほしい。 ・討議を毎回取り入れるので、積極的に発言すること。 ・授業は正当な理由がない限り、欠席、遅刻、早退をしないこと。 ・他の受講生の学習に迷惑をかける行為 (携帯電話の操作、私語、居眠り、グループ活動に協力しない等)をしないこと。 		
13. オフィスアワー	原則週に2コマを第1回の講義の際に指示をする。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・心理学部で取得できる資格、心理学の知識を活かす仕事 ・キャリアとは何か 	事前学習	テキスト pp.15～21 を読んで、キャリアについて理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	資格や知識を活かした自分が将来就きたい仕事について調べてみる。
第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアの成功 ・キャリア理論 	事前学習	テキスト pp.24～30 を読んで、キャリア理論について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	「ベストマッチング」についてさらに調べて理解を深める。
第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・職業興味検査 	事前学習	自分が就きたい仕事について考えておく。
		事後学習	職業興味検査の結果を踏まえて自分に相応しい仕事をさらに考える。
第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・自己理解 (エゴグラム・YG 性格検査) 	事前学習	質問紙法の性格検査について調べておく。
		事後学習	エゴグラムと YG 性格検査について結果をさらに検討し、自己理解を深める。
第5回	<ul style="list-style-type: none"> ・将来就きたい仕事 	事前学習	将来の夢について考えておく。
		事後学習	将来の夢について調べながらさらに具体的に考え、レポートにして提出する。

第6回	・能力とキャリアデザイン	事前学習	テキスト pp.30～37 を読んで、能力とキャリアデザインについて理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	能力の構造についてさらに調べ、自分に当てはめて考える。
第7回	・小学校から高校までのキャリアデザイン	事前学習	テキスト pp.53～60 を読んで、小学校から高校までのキャリアデザインについて理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	講義内容を踏まえた上で、過去の自分について振り返っておく。
第8回	・大学のキャリアデザイン	事前学習	テキスト pp.60～71 を読んで、大学のキャリアデザインについて理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	インターンシップについてさらに調べておく。
第9回	・就職するまでのスケジュール ・心理学部の学生の進路	事前学習	就職するまでのスケジュールを調べて、疑問点を明確にする。
		事後学習	就職支援室からの話を聞いた感想をまとめて提出する。
第10回	・論理的思考力・文章力	事前学習	論理的思考力・文章力には何が必要か調べておく。
		事後学習	授業で書いた文章をさらに推敲して提出する。
第11回	・卒業生からのキャリアガイダンス	事前学習	自分のなりたい職業について具体的に考えておく。
		事後学習	卒業生からの話を聞いた感想をまとめて提出する。
第12回	・入社直後のキャリアの危機	事前学習	テキスト pp.72～81 を読んで、入社直後の危機について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	自分のキャリアの危機について考えてみる。
第13回	・30歳をにらむ時期のキャリアデザイン	事前学習	テキスト pp.81～87 を読んで、30歳をにらむ時期のキャリアデザインについて理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	転職についてについて調べてみる。
第14回	・現場を知る（適応指導教室）	事前学習	適応指導教室について調べて、疑問点を明確にする。
		事後学習	見学をした感想をまとめて提出する。
第15回	・まとめ	事前学習	これまでの講義を振り返って自分のキャリアデザインについて疑問点を明確にしておく。
		事後学習	再度自分のキャリアデザインについて検討する。